

戦略(素案)に対する主な意見と対応について

推進会議委員からの意見

項目	委員名	意見等	対応
1 (全体)	新倉副議長	総花的になっている。今ある千葉の課題と、オリンピック・パラリンピックに向けた課題を結びつけて取り組んでいく必要があるのではないか。キャンプ誘致や国際大会の開催などを通して、戦略にある課題を検証する作業が必要であると思う。	戦略は、基本方針の5つの方向性を実現させるため、オール千葉体制で推進すべき取組を幅広く取り込んでいる。来年度以降はそれぞれの取組を進める中で課題の検証を行い、今後の取組へ反映させていくこととしたい。
2 (全体)	夏目委員	網羅的にまとまっているが、これをどう実行していくかが大切。優先順位づけや重点項目の絞り込みが必要ではないか。特に外国人の受入体制と、情報環境の整備が大切だと思う。	戦略は、オール千葉体制で進める取組を示しており多様な主体が関わるものであるため、優先順位づけや重点項目の絞り込みについては、今後の検討課題としたい。 なお、参考として、戦略に関連する県の主要事業(H26.2月補正及びH27当初予算)の取りまとめを行った。 ※資料3参照
3 戦略1	鈴木委員	キャンプの誘致に当たっては、千葉県の中にあるコネクションを活用して積極的に動く方が良いのではないか。キャンプ誘致により、千葉でトレーニングをしている選手の姿がメディアを通して伝わり、千葉県の価値向上につながっていくと思われる。	これまでの誘致活動を通して、キャンプ誘致に当たっては、様々な人のつながりを活用して進めていくことが非常に有効であると認識している。今後も、2020年のキャンプ誘致に向けて、委員の皆様の御協力もいただきながら、あらゆる機会を通じて国内外の競技団体等へ働きかけていく。
4 戦略1	増田委員	オリンピック・パラリンピックを対等に取り上げていることは良いと思う。選手にとっての一番のおもてなしは観客の数なので、10月の車椅子バスケットなど大会開催に向けて多くの観客を集めることが大切だと思う。	2015IWBFアジアオセアニア大会の成功に向け、産学官民が一体となって大会を大いに盛り上げていきたい。
5 戦略2	鈴木委員	県内大学などの施設の拡充などにより、優秀な選手が育ち、県全体のレベルの向上につながっていくと思う。	競技力の向上については、千葉県競技力向上推進本部において、ジュニア強化事業が進められている。加えて、県では27年度からパラリンピック競技の競技力向上に向けた取組を進めることとしている。2020年に向けて、今後とも競技力の向上を図っていきたい。
6 戦略2	島内委員	大学・高校などと協議ながら、2020年に向けて、どのような種目でどのように選手を育成していくかに取り組むことが重要である。	
7 戦略2	荒川委員	選手の育成に向けて、教育委員会、体育協会、各競技団体、パラリンピックも含めて県を挙げて取り組む必要がある。	
8 戦略2	田村委員	競技団体などのネットワークを活用して、それぞれの競技にあった優秀な子どもを発掘することが課題になっていると思う。また、アスリートの将来についての受入体制も重要である。	
9 戦略3	志賀委員	キャンプ誘致に当たり自治体同士の連携を深めるためにも、県内道路の整備を進めていただきたい。	交流・連携を広げ、県土の発展に資するように、効果的、効率的な道路整備を進めていく。
10 その他(全体)	飯沼委員	大会後に、世界から尊敬されるような、日本の良い習慣・文化として残るようなものが、オリンピック・パラリンピック開催を機会としてつくられるとよいと思う。	あたたかいおもてなしの心を持って国内外からの来県者を迎えられるように、オリンピック・パラリンピック後にもレガシーとして残るような県民意識の醸成を図っていきたい。

市町村からの意見

項目	市町村名	意見等	対応
11	(全体) 松戸市	県と市町村、市町村同士、東京都や大会組織委員会との連携について、今後どのような取組を想定しているのか。	今後とも、東京都や大会組織委員会などと連絡を密にして情報収集を行うとともに、要請があれば協力していく。キャンプ誘致等を検討している市町村等と情報共有を図りながら「オール千葉」で取り組んでいく。また、市町村間の広域連携に向けて積極的に情報提供を行うなど協力していく。
12	(全体) 成田市	学校教育においても様々な取組が求められており、いずれも重要と考えるが、市町村が実施主体として記載される以上、市町村に対する期待も大きくなり、ある程度のレベルが求められる。例えば学校教育において指導を行う場合の要領や、財政的な支援が必要と思う。	学校教育における取組については、取組が具体的に進んでいく中で、関連事項の情報提供など、可能な支援をしていきたい。
13	(全体) 成田市	現在、県下でも、独自に方針を立てて、事前キャンプ誘致やプロモーション活動などを検討・取り組んでいる自治体や、これから取り組む自治体があるかと思いますが、その活動を支援・促進するような戦略の策定をお願いしたい。	キャンプ誘致等に前向きな市町村に対しては、競技団体等に関する情報提供や施設整備に対する支援等を行っていく。
14	(全体) 佐倉市	オリンピック・パラリンピック開催において、環境への取組や配慮は欠かせない要素と考えられるので、千葉県戦略においても言及し、実施することは不可欠と考える。(例:公共交通機関の活用など、環境負荷の少ない輸送の優先、3Rの徹底、グリーン購入の徹底等)	それぞれの取組の推進に当たり、環境への配慮は必要と考えており、今後、専門部会等で検討していきたい。
15	(全体) 佐倉市	この戦略を推進する組織や体制づくり、組織図などの記載、県の予算的な裏付けや市町村や各種団体への補助などの財政面での記載があると、戦略の実行性が増すと考える。	推進会議の体制図を戦略に添付することとした。なお、参考資料として、戦略に関連する県の主要事業を取りまとめたので参照していただきたい。
16	(全体) 佐倉市	「国外」、「海外」等表記がまちまちなので、統一感を持たせた方がよい。	「国外」と「海外」については「海外」に表記を統一した。
17	(全体) 流山市	全般的に、各主体(県や市町村など)が連携するのか、それぞれの役割があるのか等、具体性に欠けている。誰が、何を、どのようにするのかなど具体的に記述できないか。	戦略では、企業・団体・大学・行政などがそれぞれ主体的に進めていくものと、連携して取り組むものを区別せず、「オール千葉」体制で取り組んでいくものとして記載している。
18	(全体) 九十九里町	オリンピック・パラリンピック開催に向けた環境整備及び人材育成等を行っていく上で、財政的支援及び情報提供支援等については、具体的な方策等を検討しているのか。また、環境整備のうち、施設整備等については、オリンピック・パラリンピックのみに特化したものではなく、その後の運営を視野に入れた計画を検討しているのか。	参考として、戦略に関連する県の主要事業(H26.2月補正及びH27当初予算)を取りまとめたので参照していただきたい。 ※資料3参照 施設整備に当たっては、各事業主体がオリ・パラ後の活用を十分に考慮する必要があると考えている。
19	戦略1 館山市	受入宿泊施設等従業員向けの研修会について、パラリンピック競技だけでなくオリンピック競技のトップアスリートへの対応方法などの研修会も実施できないか。	今後、パラリンピック競技に関する研修会の成果を検証した上で検討していきたい。
20	戦略1 成田市	「 <input type="checkbox"/> 県内キャンプ候補地の情報収集とパッケージ化【県・市町村・大学・宿泊事業者・観光事業者】に医療機関を加えてほしい。(事前キャンプに係る視察受け入れ時に提携医療機関について確認されたため)	意見のとおり修正
21	戦略1 成田市	「 <input type="checkbox"/> ボランティアの養成・確保【県・市町村・大学】」について、大学を学校としてほしい。(現在の小学校高学年や中学生は、2020年には20歳前後となり、ボランティアなどとして参加する可能性があるため)	意見のとおり修正

22	戦略1	勝浦市	過去に諸外国・団体のキャンプ誘致などをした自治体において発生した問題点や成功した事例などを情報提供してほしい。	県で把握している各種情報や、世界陸上北京大会事前キャンプを通じて蓄積したノウハウは市町村に提供していく。
23	戦略1	八千代市	競技施設や宿泊施設などのパッケージが単一の市町村で完結しないことも想定されるため、市町村間の広域連携に向けて、県による積極的な支援をお願いしたい。	県としても、市町村間の広域連携に向けて積極的に情報提供を行うなど協力していく。
24	戦略2	館山市	スポーツ環境の整備について、千葉県総合スポーツセンターだけでなく、館山運動公園をはじめとする県内の県立体育施設についても検討の対象に含めることはできないか。	総合スポーツセンター以外の県立施設については今後の検討課題としたい。
25	戦略2 戦略4 戦略6	館山市	施設整備においてユニバーサルデザインの導入、多言語表記等について推進のための支援策を検討してほしい。	平成27年度当初予算において、市町村振興資金に新たに東京オリンピック・パラリンピック関連施設に係る無利子の貸付メニューを創設したところである。
26	戦略2	松戸市	□キャンプ候補地のバリアフリー化について、市町村が誘致したキャンプ地のバリアフリー化に対し、県はどのような施策を実施するのか。	
27	戦略2	佐倉市	指導者の育成・強化について、選手の育成・強化が目立つが、指導者の育成・強化も推進する必要がある。理由としては、 ・優れた指導者がいなければ優れた選手は集まらず、育たない。 ・指導者を育成することで県内の設備を合宿や練習に積極的に利用してもらうことが可能。といった点が挙げられる。	指導者の育成・強化も重要と考えており、戦略2「□人づくりの推進」の中で指導者などスポーツを支える人材の育成について記載している。
28	戦略2	佐倉市	□障害者スポーツにおける競技ボランティア、介助者の養成と題名にはあるが、本文中に「介助者」の記述がない。	本文中の「パラリンピックボランティア」は競技ボランティアだけでなく介助者を含むものと考えている。
29	戦略3	松戸市	成田空港を中心とする県内のネットワーク形成以外に、県内から大会会場のネットワーク形成や、羽田や茨城空港などからのネットワークやアクセスについても記述してほしい。	戦略では、「オール千葉」で取り組む県内の主要な交通ネットワークの強化・充実について記載している。県外からのアクセスについては、戦略の中での位置付けを含め、今後専門部会において検討していきたい。
30	戦略3 戦略5	松戸市	県内を自転車で周遊する外国人観光客がいることが想定されるため、交通ネットワークに自転車を掲げ、利用者の利便性・快適性の向上を図ることに配慮が必要ではないか。(自転車レーンの整備、案内表示の充実・多言語化、トイレや休憩施設の充実・案内など)	自転車利用者の利便性・快適性の向上については、観光客等の受入環境を整備する中で、地域の実情に配慮しながら検討を進めていきたい。
31	戦略3	成田市	「□危機管理及び安全・保安体制の強化【成田国際空港(株)・県・県警】」に消防を追加してほしい。(航空機事故の際に最前線で指揮を執る消防の対応が最重要であるため)	意見のとおり修正
32	戦略3	佐倉市	交通ネットワークの強化・充実について、成田空港から県内外へのアクセス強化については、対象となる沿線又は沿道住民の生活環境に配慮を行ったうえで進められたい。特に早朝・深夜については、特段の配慮をされたい。	今後の事業実施に当たり、生活環境への影響に十分配慮していきたい。
33	戦略4	松戸市	□歩行空間のバリアフリー化について、市町村が誘致したキャンプ地やその周辺の歩行空間のバリアフリー化に対し、県はどのような施策を実施するのか。	平成27年度当初予算において、市町村振興資金に新たに東京オリンピック・パラリンピック関連施設に係る無利子の貸付メニューを創設したところである。

34	戦略4	習志野市	ソフト面のバリアフリー化について、人材育成に併せ、情報提供やコミュニケーションを図るため、障害のある方の一人ひとりの特性に応じた配慮が必要である。項目名を「情報提供やコミュニケーションを含めたソフト面でのバリアフリー化」とし、上記のような配慮を加筆してもらいたい。	「情報提供の充実」の「バリアフリーマップなどの普及促進」の文中に、障害の特性に応じた配慮について加筆した。
35	戦略5	松戸市	□ベンチや花などの町並みの景観形成について、県内には様々な表情があり、それぞれの地域でその特性を生かして景観形成に取り組んでいる。それに対し「ベンチや花など」とした限定的な記述は適切でないと思われる。	「ベンチや花」としたのは、ハード面の取組だけでなく、地域で取組やすいソフト面でも景観形成に寄与することを分かりやすく表現したもの。取組を限定的なものをしないため「ベンチや花など」としている。具体的取組を進める際には、地域の特性を活かした景観形成を行うことを想定している。
36	戦略5	佐倉市	スポーツツーリズムの推進や外国人観光客の受け入れに当たっては、宿泊施設の整備が急務である。観光客のニーズに合わせて様々な形態の宿泊施設を整備することが必要と考える。 また、「外国人旅行客を自宅の空き部屋に泊める」という新しい宿泊形態について、現在旅行業法などとの兼ね合いで議論になっているが、温泉や宿泊施設の無い潜在的な観光地にとっては大規模な投資をする必要がなく、非常に有用であると考えられる。迎える側のメリットとしては、外国人と触れ合う機会を持つとともに、語学力強化や多文化理解につながり、今まで宿泊施設のなかった地域を含む県全体で迎入れる体制と機運を高めることができる。訪れる側としても日本の家庭料理や庶民の文化を知る機会となることから、法整備を早急に進めていく必要があると考える。	法律上の問題であることから、国の動向を注視していく。
37	戦略5	佐倉市	□バリアフリー化の促進は、戦略4の内容と重複している。	観光地のバリアフリー化については重要であるため、重複する事項であるが記載している。
38	戦略5	佐倉市	□海岸・砂浜の利活用について、千葉県には印旛沼等の魅力ある観光資源があることから、「海岸・砂浜・湖沼等の利活用…」としてはどうか。	「海岸・砂浜等の利活用」としたい。
39	戦略6	成田市	電子マネーをチャージできるスポットの拡充、チャージスポットの案内、利用できる店を増やすための支援等、利用環境の向上について追加したほうがよい。	外国人受入体制の整備を進める中で、検討をしていきたい。
40	戦略6	習志野市	「□道路案内標識、観光案内板、避難所誘導看板等の公共空間における多言語表記等【県・市町村など】」について、多言語表記は観光関係団体と連携して作成するため、観光関連事業者を加筆してほしい。	意見のとおり修正
41	戦略6	白井市	□外国人観光客向け情報提供の充実について、県内市町村の多く、特に規模の小さい市町村ほどノウハウもリソース(資金・人材両面)も限られていると考える。今後取組として具体化する上で、市町村への支援や情報発信のすみわけをしっかりと検討してほしい。	今後、具体的な取組を進める中で検討していく。
42	戦略7	成田市	「□装備・資器材の整備【県警】」に消防を追加してほしい。(初動対応する消防の装備・資器材の充実、強化が必要であるため)	追加については、戦略の中での位置付けを含め、今後専門部会で検討していきたい。
43	戦略7	成田市	テロ災害時の医療機関の受入機能及び解毒剤等の備蓄の強化について追加した方がよい。	上記に同じ

44	戦略7	成田市	□自主警備体制の強化について、昨今の犯罪は、大会期間中の会場ではなく、警備強化前の前年などに関連施設やスポーツバー等で発生している傾向であるため、大会期間中に限らず前年度から自主警備体制の強化を考慮すべきと考える。特に国際空港を抱える成田市では、さらに前年(2018年)から警備体制を強化する必要があると認識している。	意見を踏まえ、文中の「大会期間中の」を削除し、「大会関連施設」の他に「集客施設」を追加した。
45	戦略7	佐倉市	危機管理・安全対策の主な取組の中に、防災対策に関する記述が弱い。風水害等の自然災害への備えについての記載がこの項目の中にあつた方が良いと考える。	追加については、戦略の中での位置付けを含め、今後専門部会で検討していきたい。
46	戦略7	佐倉市	□専用水道等の飲料水の安全確保対策で掲げる対象施設の多くが「食品・生活衛生対策」と関連し、また、各対策に掲げる監視・指導事項においても相互に重複する項目も予想される。 このことから、関係機関の緊密な連携が極めて重要であると考え、効率的、且つ効果的に調査・指導を行うため、「関係機関との連携のもと、専用水道等の調査・指導を行う」とされたい。	意見のとおり修正
47	戦略8	木更津市	オリンピック・パラリンピック企画展示について、パラリンピック競技種目については、競技名・ルールなど基本的な情報すら認知されていないのが現実。巡回展示のみでなく、実際のナショナルチームを呼び、競技の様子を目の当たりに感じることができるとする企画も必要ではないか。	戦略8には、「交流会の開催」や「パラリンピック競技の交流イベントの開催」を、また、戦略2では、「障害者スポーツ選手との交流及び共同学習」や「子どもたちがパラリンピックをみて、ふれて(体験)、ささえて(チーム、選手の応援)感動を体験する取組」を記載している。
48	戦略8	松戸市	□通訳ボランティアの養成・確保について、文章に県の取組が明記されていないが、どのような取組を想定しているのか。	県だけではなく、「オール千葉」体制で取組を推進していく。県では次年度以降、通訳ボランティアや通訳ボランティア指導者の養成を進めることとしている。なお、本文中に県を追記した。
49	戦略8	白井市	□姉妹都市交流の推進について、「姉妹都市交流等」とあるが、姉妹都市交流によらない学校同士の国際交流や民間主体の交流があるため、「姉妹都市交流やそれ以外の交流」など、もう少し広い表現へ変更してほしい。 また、「ホストシティ・タウン構想」への対応として、県内の自治体以外の交流についてより積極的に情報収集してほしい。	本文中の「姉妹都市交流等」は官民による幅広い交流を含むものと考えている。 また、ホストシティ・タウン構想については、国の動向等も注視しながら、情報収集に努めたい。
50	戦略9	佐倉市	□観光地としての新たな魅力のアピールについて、戦略5の□海岸・砂浜の利活用と同様に「海岸・砂浜・湖沼等の新たな利活用方策…」としては、どうか。	「海岸・砂浜等の利活用」としたい。
51	戦略9	流山市	□映画やテレビ等のロケーション誘致の推進について、「各地のフィルムコミッションと連携を図る」旨を記載できないか。	意見のとおり修正